

誘蛾燈 総目次

Nos. 227-254 (2017-2023)

報 文

秋葉哲男：〔岸田泰則を見よ〕	(244)	65
安西 稔：〔阪本優介を見よ〕	(248)	103
青木俊彦：宮城県北部のイラガ科 <i>Microleon</i> 属について	(232)	57
———：宮城県北部のシャクガ科 <i>Lomaspilis</i> 属について	(233)	89
———：宮城県北部のキモンホソバノメイガについて	(233)	91
———：宮城県でババエダシャクを採集	(235)	2
———：カメダカバナミシャクを宮城県で採集	(236)	42
———：シロミヤクツトガを宮城県で採集	(236)	42
———：宮城県で採集したフタシロスジナミシャクの異常型	(237)	69
———：2019年に宮城県東松島市鳴瀬川河口で採集した注目すべき蛾類	(240)	66
———：マエクロモンオトリバを宮城県で採集	(248)	115
———：シマホソメイガ族の未記載種について	(249)	148
———：クロミヤクホソメイガを宮城県で採集	(249)	149
———：ビャクシンマダラメイガを宮城県で採集	(250)	191
———：宮城県における <i>Acleris kodamai</i> Yasuda コダマハマキの記録	(250)	192
———：ホソガ科 <i>Caloptilia</i> 属の不明種について	(251)	1
尾藤成人・笠井初志・遠藤弘志：ババエダシャクを岐阜県白川村にて採集	(235)	8
———：〔笠井初志を見よ〕	(234)	137
枝恵太郎：〔岸田泰則を見よ〕	(250)	198
———：〔岸田泰則を見よ〕	(251)	42
———：〔岸田泰則を見よ〕	(254)	155
———：〔長田庸平を見よ〕	(251)	19
———：〔長田庸平を見よ〕	(254)	167
———：〔鈴木信也を見よ〕	(252)	78
遠藤弘志：オオモンキキリガを岐阜県平湯で採集	(230)	110
———・笠井初志：岐阜県のオオツバメエダシャクの追加記録	(250)	197
———：〔宮野昭彦を見よ〕	(235)	3
———：〔尾藤成人を見よ〕	(235)	8
———：〔平坪和規を見よ〕	(251)	3
藤平 暁：茨城県稲敷市浮島（妙岐の鼻）の蛾 I	(243)	15
———：茨城県稲敷市浮島（妙岐の鼻）の蛾 II	(244)	73
———：〔工藤広悦を見よ〕	(233)	121
福本昭男：モンクロキイロナミシャクを夕張岳亜高山帯で記録	(228)	25
———：マツキリガとナカオビキリガを北海道夕張市で採集	(231)	17
船越進太郎・各務一夫・金子岳夫・宮野昭彦・那須義次・佐藤宏明・杉島一広・高橋公彦・屋直禎央・吉安 裕： 岐阜県で開催した第73回レピドプテリストセミナー（レピゼミ）で採集された蛾	(231)	1
———：〔那須義次を見よ〕	(237)	82
———：〔富沢 章を見よ〕	(238)	107
後藤聖士郎：〔阪上洸多を見よ〕	(240)	32

林 肇：北海道安平町の蛾 (1)	(232)	61
——：北海道安平町の蛾 (2)	(233)	95
平野長男：新潟県での小蛾類の採集記録 I	(240)	48
——：新潟県での小蛾類の採集記録 II	(248)	87
——：2019 年に高知県で採集した小蛾類	(241)	81
——：新潟県で採集された <i>Scythris palustris</i> (Zeller) クロキヌバコガ	(244)	67
——：新潟県弥彦山系で 2019 年に採集された小蛾類	(244)	68
——：新潟県弥彦山系で 2020 年に得られた注目すべき小蛾類	(246)	186
——： <i>Promalactis inokoi</i> イノコベニマルハキバガ新潟県の記録	(246)	218
——：ヤマトホソヤガ新潟県と長野県の記録	(251)	32
——：〔内藤恒夫を見よ〕	(Suppl. 16)	1
平塚和規：日本産カトカラ全種採集について ～ワンシーズン制覇の記録～	(239)	3
——：岐阜県中津川市と愛知県名古屋市におけるマエジロアカフキョトウの記録	(241)	88
——：愛知県で 5 月に得られたクロオビナミシャクの記録	(244)	101
——：愛知県におけるイチモジフユナミシャクの記録	(247)	14
——：対馬で得られたキオビゴマダラエダシャクの異常型の記録	(247)	42
——：岐阜県におけるウスイロキシタバの追加記録	(249)	158
——：トギレフユエダシャクを愛知県豊田市で採集	(250)	201
——：奄美大島産セダカシャチホコについて	(254)	157
——：遠藤弘志：名古屋市平和公園で秋季～春季にかけて糖蜜に誘引された蛾類	(251)	3
飯塚新真：千葉県 (房総半島) におけるスジモンフユシャクの採集例	(236)	58
池田健一：大阪府堺市におけるクロモンシタバの記録	(237)	92
岩下幸平：〔阪上洗多を見よ〕	(240)	32
岩田高幸：ワタリंगाを愛知県で確認	(235)	5
——：〔間野隆裕を見よ〕	(235)	16
神保宇嗣：〔阪本優介を見よ〕	(241)	103
各務一夫：〔船越進太郎を見よ〕	(231)	1
亀田 満：北海道のバンタイマイマイ追加記録	(227)	17
——：北海道のハイロエグリツトガ追加記録	(228)	26
——：北海道で採集したヒゲナガガ科の記録	(228)	43
——：北海道南部のヤガ科 4 種の記録	(229)	91
——：ジョナスキシタバを北海道で採集	(240)	63
——：北海道南部のホソコヤガ亜科、アオイガ亜科、キマダラコヤガ亜科の記録	(241)	89
——：ウスミドリナミシャクを北海道南部で採集	(241)	93
——：北海道のコウチスズメ追加記録	(241)	94
——：オトウウスグロクチバを北海道で採集	(241)	95
——：北海道南部のモンヤガ亜科の記録	(242)	153
——：イラクサゴマダラヒトリの新産地	(253)	125
金子岳夫：マエアカスカシノメイガの冬季の採集例	(228)	29
——：スカシコケガ蛹を冬枯れのヤマコウバシ葉上より採集	(228)	49
——：マエグロシラオビアカガネヨトウ幼虫をフタリシズカ (センリョウ科) より採集	(230)	108
——：フタシロスジカバナミシャクの山形県からの記録	(231)	16
——：ウンモンオオシロヒメシャクのギナンドロモルフ	(232)	49
——：日本産クロスジシロヒメシャク及びマルバヒメシャクについての知見	(232)	70
——：西表島におけるアトベニヒメシャクの追加記録	(232)	72

—————：奄美大島のモントビヒメシヤク……………	(233)	113
—————：ミナミヒメシヤクの鹿児島県奄美大島からの追加記録……………	(233)	122
—————：ナカオビアキナミシヤクの比較的遅い記録……………	(235)	8
—————：西表島で採集されたオキナワウスチャヒメシヤクについて……………	(236)	53
—————：乗鞍岳で8月に採集されたウスベニスジナミシヤクの記録……………	(237)	70
—————：栽培アジサイに寄生するピロードナミシヤク幼虫を採集……………	(237)	74
—————：アカマダラシマナミシヤクに関する覚え書き……………	(238)	118
—————：高山帯におけるマエアカスカシノメイガの発生例……………	(238)	120
—————：花を食うマメドクガ幼虫……………	(238)	123
—————：日本産キヒメシヤクの色彩変異について……………	(238)	127
—————：外来種ホシアサガオを食害するナカジロシタバ幼虫……………	(239)	19
—————：ウドノメイガ幼虫のアシタバからの記録……………	(243)	14
—————：キタダケヨトウを赤石山脈千枚岳で採集……………	(246)	173
—————：愛知県豊橋市でアメリカピンクノメイガを採集……………	(246)	198
—————：静岡県におけるシナチクノメイガの採集例……………	(252)	93
—————：富山県猫又山における蛾類採集記録……………	(254)	170
—————：小杉時規：国内で初めて採れたナミスジカバナミシヤク♂成虫の形態および寄主と幼生期の記録……………	(252)	66
—————：阪本優介：ヤナギタマダラヒメシヤク♀の記載と所属の変更……………	(248)	66
—————：〔船越進太郎を見よ〕……………	(231)	1
金子 司：函館山でヨモギガを採集……………	(228)	47
—————：北海道上ノ国町でハスオビエダシヤクを多数確認……………	(235)	23
—————：北海道でクロツヤミノガが発見される……………	(236)	30
神澤由己：〔阪本優介を見よ〕……………	(241)	103
—————：〔阪本優介を見よ〕……………	(248)	103
笠井初志・尾藤成人：岐阜県におけるツマトビキエダシヤクとミヤツマトビキエダシヤク（シヤクガ科 <i>Bizia</i> 属）の分布記録……………	(234)	137
—————：〔尾藤成人を見よ〕……………	(235)	8
—————：〔遠藤弘志を見よ〕……………	(250)	197
—————：〔宮野昭彦を見よ〕……………	(230)	105
—————：〔宮野昭彦を見よ〕……………	(234)	131
—————：〔宮野昭彦を見よ〕……………	(235)	3
—————：〔宮野昭彦を見よ〕……………	(251)	23
桂孝次郎：〔長田庸平を見よ〕……………	(245)	132
—————：〔長田庸平を見よ〕……………	(251)	18
川原 進：ゴマケンモンの黒化型を北海道で採集……………	(227)	19
—————：キトビエダシヤクを北海道で採集……………	(228)	38
Khine Mon Mon Kyaw：〔阪上洗多を見よ〕……………	(240)	32
木村正明：石垣島で初めて記録されたエグレカイハネガ……………	(238)	129
—————：谷田昌也・高橋公彦：波照間島 2017 年 5 月の蛾類……………	(242)	125
—————：中野 潔：ハスモンキンウワバの採集記録……………	(244)	105
—————：〔長田庸平を見よ〕……………	(246)	213
—————：〔谷田昌也を見よ〕……………	(240)	57
岸田泰則：東京都世田谷区で 10 月中旬にオオミズアオを採集……………	(227)	20
—————：八重山のヨナグニサンは土着種なのか？……………	(229)	93
—————：アマヒトリ東京都の記録……………	(230)	121

————— : アサマウスモンヤガ山梨県乙女高原に産す……………	(233)	92
————— : 東京港野鳥公園の蛾類……………	(234)	139
————— : 柳田さんを偲ぶ……………	(238)	136
————— : 東京都から記録のある疑問種の蛾……………	(240)	62
————— : シンジュキノカワガ群馬県の一記録……………	(244)	66
————— : ワタリंगा宮崎県に産す……………	(245)	134
————— : シロモンアシブトクチバの沖縄島の1記録……………	(245)	147
————— : ヒトリガ備忘録 (1) ……………	(246)	177
————— : ヒトリガ備忘録 (2) リシリヒトリ……………	(247)	3
————— : ヒトリガ備忘録 (3) 本州のヒメキシタヒトリ……………	(248)	60
————— : ヒトリガ備忘録 (4) 三宅恒方が記録したヒトリガ2種およびヒメキシタヒトリに関する追加知見…	(249)	134
————— : ヒトリガ備忘録 (5) 利尻島のリシリヒトリとヒメキシタヒトリ……………	(250)	180
————— : ヒトリガ備忘録 (6) ヒトリガ亜科2種の色彩変異と南西諸島のコベニシタヒトリ……………	(251)	33
————— : ヒトリガ備忘録 (7) アマヒトリ本州亜種の出現期……………	(253)	126
————— : テングナミシャクを東京都世田谷区で採集……………	(246)	192
————— : アメリカピンクノメイガを東京都世田谷区で採集……………	(246)	192
————— : ハネナガブドウズメ石垣島の記録……………	(247)	41
————— : キオビセセリモドキ静岡県の記録……………	(251)	12
————— : ウンナンヨツボシホソバ山梨県の記録……………	(251)	37
————— : 小林秀紀さん(ひーちゃん)を偲ぶ……………	(251)	38
————— : トラフツバメエダシャクの斑紋異常個体……………	(253)	101
————— : ヨツボシホソバの異常型2題……………	(253)	128
————— : <i>Ilema okiensis</i> (ヒトリガ科コケガ亜科) について……………	(254)	168
————— : 秋葉哲男: 東京都奥多摩町日原の蛾若干……………	(244)	65
————— : 枝恵太郎: 山梨県鋸岳の蛾若干……………	(250)	198
————— : 枝恵太郎: 小林秀紀博士著作目録(1990-2022) ……………	(251)	42
————— : 枝恵太郎・小林真大: 山梨県甲斐駒ヶ岳-鋸岳の蛾……………	(254)	155
————— : [鈴木信也を見よ] ……………	(252)	78
————— : [鈴木信也を見よ] ……………	(248)	105
北島裕紀: 柳田先生との思い出……………	(238)	137
小林真大: [岸田泰則を見よ] ……………	(254)	155
小木広行: キバガ科の幼虫とその食草 (8) ……………	(228)	31
————— : キバガ科の幼虫とその食草 (9) ……………	(229)	64
————— : キバガ科の幼虫とその食草 (10) ……………	(232)	59
————— : キバガ科の幼虫とその食草 (11) ……………	(233)	110
————— : キバガ科の幼虫とその食草 (12) ……………	(240)	30
————— : キバガ科の幼虫とその食草 (13) ……………	(248)	80
————— : キバガ科の幼虫とその食草 (14) ……………	(253)	114
————— : ミツボシアツバ及びムラサキミツボシアツバの幼虫と食草……………	(231)	15
————— : ホソハマキモドキガ科の日本からの1未記録種……………	(237)	93
————— : シロオビクロナガの幼虫と食草……………	(239)	7
————— : 日本未記録のヒメハマキの一種……………	(245)	113
————— : ミドリネグロフトメイガの幼虫と食草……………	(247)	33
小又節子: [富沢 章を見よ] ……………	(234)	133
小松利民: 北海道南部渡島半島から採集された分布上興味ある蛾類 2……………	(229)	67

—————：北海道からのヨツモンミツボシキバガの記録	(229)	77
—————：北海道からウスモンホソバコスガとヒメウスバコスガを採集	(240)	64
—————：ウスバヒロズコガ（ヒロズコガ科）の新食草について	(241)	77
—————：北海道南部からツシマチビキバガ（キバガ科）を採集	(241)	78
—————：コクガが有機肥料から発生	(242)	142
—————：モンシダマイコガ（ニセマイコガ科）の食草について	(244)	106
—————：ウスタビガの雌雄型を採集	(252)	61
—————：北海道南部のモグリチビガ科	(254)	160
—————：〔野村昭英を見よ〕	(252)	53
—————：〔櫻井正俊を見よ〕	(249)	121
近藤直人：ヒメエグリバを北海道で採集	(244)	102
近藤剛史：2020年に福島県で採集したミヤゴマキリガの記録	(244)	61
—————：2019年と2020年に福島県磐梯町で採集したサザナミフユナミシヤクの記録	(244)	90
—————：2021年に福島県で採集したウスシモフリトゲエダシヤクの記録	(253)	129
小杉時規：〔金子岳夫を見よ〕	(252)	66
クルズスキー淳子：愛知県西尾市でトビモンオオエダシヤクを12月に採集	(235)	24
—————：〔間野隆裕を見よ〕	(235)	16
—————：〔阪上洗多を見よ〕	(240)	32
工藤広悦：ヒモミノガの幼生期について（1）幼虫	(229)	81
—————：ヒモミノガの幼生期について（2）蛹	(243)	33
—————： <i>Olethreutes aurofasciana</i> (Haworth) コケキオビヒメハマキの生活史	(232)	41
—————：北海道利尻島のフユシヤク類の採集記録	(233)	106
—————：ヨシタテスジトガリホソガの幼虫と蛹	(239)	13
—————：シロテンチビミノガの生活史（小型ミノガ類多産地シリーズ1）	(240)	45
—————：クロチビミノガの生活史（小型ミノガ類多産地シリーズ2）	(241)	85
—————：ハルノチビミノガの幼虫と蛹（小型ミノガ類多産地シリーズ3）	(243)	35
—————：ヒロズミノガ類3種（ヒロズミノガ，ミドリチイヒロズミノガ，コケヒロズミノガ）のミノと2種の幼虫（小型ミノガ類多産地シリーズ4）	(245)	135
—————：ヒロズミノガ類3種（ヒロズミノガ，ミドリチイヒロズミノガ，コケヒロズミノガ）の蛹（小型ミノガ類多産地シリーズ5）	(246)	183
—————： <i>Dahlica parthenogenesis</i> (Saigusa) パルテノステビミノガの幼虫と雌の蛹について	(250)	186
—————： <i>Psyche casta</i> (Pallas) タイリクヒメミノガの幼生期	(253)	117
—————：藤平 暁：関東地方を中心とするヒモミノガ類の採集記録	(233)	121
楠 祐一：北海道中部におけるシヤクガ科幼虫の知見（1）	(252)	70
—————：奥 俊夫：北日本産ツツミノガ科の分布記録と生態（6）	(245)	115
—————：保田信紀：北海道産高山蛾の生活史について（6）	(237)	75
前田憲吾・吉安 裕：滋賀県守山市で採集された北米からの移入種と思われる <i>Pyrausta inornatalis</i> （鱗翅目：ツトガ科，ノメイガ亜科）—日本における2番目の分布記録	(240)	43
真鍋泰彦：河上友三氏の採集した四国産スカシバガ21種	(237)	71
間野隆裕：クワトゲエダシヤクとキイロトゲエダシヤクを愛知県西尾市で採集	(233)	81
—————：チビウスキヨトウとオオツバメエダシヤクの山口県の記録	(243)	26
—————：シナチクノメイガの愛知県と岐阜県の記録	(247)	43
—————：シナチクノメイガ岐阜県郡上市の採集データの追記	(248)	86
—————：ハネナガモクメキリガの奄美大島からの記録	(251)	22
—————：クワトゲエダシヤクの新記録となる寄主と既寄主のまとめ及び分布に関する一考察	(252)	87

—————	: オオエグリシャチホコ (シャチホコガ科) とキベリネズミホソバ (ヒトリガ科) の異種間交尾の例	(253) 121
—————	: オオチャバネヨトウの北海道、青森県及び対馬の記録	(254) 172
—————	: クルズスキー淳子・岩田高幸: マエジロアカフキヨトウを愛知県で採集	(235) 16
—————	: [長田庸平を見よ]	(253) 130
—————	: [阪上洸多を見よ]	(240) 32
—————	: [谷田昌也を見よ]	(240) 57
—————	: [富沢 章を見よ]	(238) 107
松井悠樹	: [阪上洸多を見よ]	(240) 32
—————	: [鈴木信也を見よ]	(252) 78
南 導演	: 滋賀県で得たミナミホソバノメイガとキタホシオビホソノメイガ	(251) 27
—————	: [吉安 裕を見よ]	(241) 79
三井秀男	: ミヤマクロオビナミシヤクの岩手県からの記録	(239) 21
—————	: ヨツテンアオシヤクの岩手県岩泉町からの記録	(239) 24
宮野昭彦	: カンバウスモンヒメハマキの赤味があった個体を北海道愛山溪で採集	(231) 29
—————	: 日本のギンボシトビハマキは3種の混合か	(236) 32
—————	: フモトミズナラにつく蛾類 (4)	(238) 132
—————	: フモトミズナラにつく蛾類 (5)	(244) 83
—————	: 日本未記録のピンク色のノメイガ	(239) 1
—————	: ノシメマダラメイガの交尾時における交尾器の結合について	(241) 97
—————	: オオクロオビナミシヤクからミヤマクロオビナミシヤクをつくる	(242) 117
—————	: ギンヨコジマヒメハマキの発見	(242) 122
—————	: <i>Dysstroma</i> 属 (シヤクガ科ナミシヤク亜科) 3種の交尾器による区別	(242) 133
—————	: 蛾類の交尾時における交尾器の結合について (1) クビワウスグロホソバの場合	(242) 139
—————	: 蛾類の交尾時における交尾器の結合について (2) ナミスジチビヒメシヤクの場合	(246) 180
—————	: 蛾類の交尾時における交尾器の結合について (3) ウラモンアオナミシヤクの場合	(247) 6
—————	: 蛾類の交尾時における交尾器の結合について (4) シロオビノメイガの場合	(249) 150
—————	: 蛾類の交尾時における交尾器の結合について (5) ナミグルマアツバの場合	(251) 30
—————	: 蛾類の交尾時における交尾器の結合について (6) アヤナミノメイガの場合	(253) 119
—————	: 蛾類の交尾時における交尾器の結合について (7) オビヒトリの場合	(254) 164
—————	: ヤツガタケヒメハマキを岐阜県で採集	(242) 160
—————	: ニトベミノガ♀の交尾器について	(243) 51
—————	: <i>Camptomastix</i> 属 2種の交尾器および岐阜県内分布について	(244) 87
—————	: マエキヒメシヤクのケラタの変異例	(245) 114
—————	: 蛾類幼虫飼育メモ (3)	(245) 153
—————	: 日本未記録のハビロキバガの1種	(246) 176
—————	: サビイロマダラメイガ岐阜県の記録	(246) 198
—————	: 日本のコシロアシヒメハマキは2種の混合か	(247) 9
—————	: 日本未記録のクロヘリキバガの隠ぺい種について	(248) 68
—————	: 岐阜県における <i>Nagiella</i> 属 (ツツガ科ノメイガ亜科) 3種の知見	(248) 70
—————	: メイガ上科蛾類の尾部部の光る毛束について	(249) 157
—————	: キイロミツボシキバガ岐阜県の記録	(250) 174
—————	: モリオカツツガ岐阜県の記録	(250) 194
—————	: 日本未記録の <i>Scythrioides</i> 属 4種目の記録	(251) 29
—————	: ゴマフシロハビロキバガ♀交尾器の signa の変異について	(253) 122
—————	: ミチノクハマキホソガ岐阜県の記録	(253) 123

—————: 岐阜県の蛾類相 I.....	(Suppl. 11)	1
—————: 岐阜県の蛾類相 II.....	(Suppl. 12)	1
—————・笠井初志: 岐阜県における <i>Microleon</i> 属 3 種の分布について	(230)	105
—————・笠井初志: 岐阜県における <i>Lomaspilis</i> 属 2 種の分布とヒゲブトシロオビヒメエダシャクの長野県からの初記録.....	(234)	131
—————・笠井初志: スギノキエダシャクとフトフタオビエダシャクの交尾器と岐阜県における分布等について ..	(251)	23
—————・笠井初志・遠藤弘志: 岐阜県における <i>Aemene</i> 属 2 種の分布について	(235)	3
—————: [船越進太郎を見よ]	(231)	1
—————: [那須義次を見よ]	(237)	82
—————: [阪上光多を見よ]	(240)	32
—————: [鈴木信也を見よ]	(239)	9
—————: [富沢 章を見よ]	(238)	107
宮野裕子: 岐阜県各務原市の耕作地の蛾 (1)	(245)	138
—————: オオウスモンキヒメシャクとミジンキヒメシャクの食餌植物と飼育記録.....	(247)	19
—————: 耕作地の蛾 7 科 20 種の新寄主.....	(252)	54
—————: 岐阜県各務原市の耕作地の蛾 (2) 2020 年 8 月~2021 年の採集記録 (前編)	(253)	102
—————: 岐阜県各務原市の耕作地の蛾 (2) 2020 年 8 月~2021 年の採集記録 (後編)	(254)	140
水野利彦: [鈴木信也を見よ]	(248)	105
水谷 穰: ウスキバネツトガの生態と飼育記録.....	(227)	11
—————: 北海道南西部で記録された蛾類 I.....	(231)	11
—————: 北海道南西部で記録された蛾類 II.....	(233)	83
—————: 北海道南西部で記録された蛾類 III.....	(243)	27
—————: 北海道南西部で記録された蛾類 IV.....	(248)	95
—————: 北海道から記録された日本未記載種 <i>Anacampsis homoplata</i> (Meyrick) (キバカ科, サクラキバガ亜科) について.....	(234)	143
—————: 北海道から新たに記録されたダケカンバキバガとカンバシモフリキバガについて	(235)	9
—————: 北海道南西部でヒゲブトシロオビヒメエダシャクを記録.....	(236)	59
—————: 札幌市におけるキシタバの採集記録.....	(243)	27
—————: 北海道で記録されたホソガ科の未記載種.....	(245)	133
—————: 北海道におけるマイマイガの亜種について.....	(246)	190
—————: ヒダカミツボシキリガの追加記録.....	(248)	53
—————: 北海道南西部のキシタバについて.....	(250)	200
村松詮士: 北海道北見の蛾類採集記録.....	(Suppl. 17)	1
村松詮士・柳谷卓彦: 北見市常呂町ワッカ原生花園の蛾類.....	(Suppl. 14)	1
村瀬ますみ: シャクガ科 2 種の寄主植物を追加.....	(234)	146
—————: ヒメアカシマメイガとウスイロコクガほか小蛾類数種の飼育.....	(245)	157
—————: アヤトガリバ (カギバカ科) の幼虫を冬季に採集.....	(246)	175
—————: ナカキチビマダラメイガがオオミノガのミノから羽化.....	(253)	115
村瀬駿弥・長田庸平: 和歌山県有田市におけるマサキオオツバメの記録.....	(247)	40
室 紀行: [長田庸平を見よ]	(252)	63
内藤恒夫: 紫外線 LED を使った蛾類のトラップ採集.....	(231)	18
—————・佐藤力夫・清野昭夫: オオミズアオ 95 年ぶりに弥彦山系 (新潟県) で採集.....	(243)	47
—————・佐藤力夫・清野昭夫: 新潟県弥彦山系で 2020 年に得られた注目すべき蛾類.....	(244)	98
—————・佐藤力夫・平野長男・清野昭夫: 紫外線 LED トラップによる新潟県弥彦山系の 2020, 2021 年の蛾類.....	(Suppl. 16)	1

—————:〔佐藤力夫を見よ〕	(229)	92
—————:〔佐藤力夫を見よ〕	(243)	1
—————:〔佐藤力夫を見よ〕	(243)	52
—————:〔佐藤力夫を見よ〕	(246)	174
中島秀雄:日本産フユシヤクガの採集記録とその知見 III	(229)	57
—————:日本産フユシヤクガの採集記録とその知見 IV	(238)	101
—————:日本産フユシヤクガの採集記録とその知見 V	(242)	143
—————:日本産フユシヤクガの採集記録とその知見 VI	(248)	73
—————:「フユシヤクガの採集記録とその知見」シリーズの訂正	(229)	62
—————:野中俊文博士採集の北海道産蛾類	(236)	47
—————:キスジシロヒメシヤクの幼虫を神奈川県で採集	(241)	106
—————・西海正彦:伊豆諸島・小笠原諸島産蛾類目録	(Suppl. 15)	1
中村 泰:〔田部達也を見よ〕	(253)	128
中野 潔:〔木村正明を見よ〕	(244)	105
中尾健一郎:私の蛾の師, 柳田慶浩氏のご逝去を悼んで	(238)	138
中谷至伸:〔綿引大祐を見よ〕	(248)	81
那須義次:ナカトビフトメイガの幼虫形態	(241)	96
—————:ウスグロイガの体内に幼虫が!!	(242)	138
—————・船越進太郎・宮野昭彦:タテヤマヒメハマキの本州からの記録	(237)	82
—————・田村常雄:スカシトビイロヒロズコガが床下のコウモリのグアノから発生	(240)	29
—————:〔船越進太郎を見よ〕	(231)	1
—————:〔阪上光多を見よ〕	(240)	32
西田信夫・吉安 裕:近畿地方で初めて得られたウスキモンノメイガ(ツトガ科)	(232)	60
西海正彦: <i>Apethitis</i> 属(ミツボシキバガ科)の日本未記録種	(227)	9
—————:東京都未記録の蛾類(第8報)	(229)	78
—————:東京都(本土部)産 <i>Microleon</i> 属(イラガ科)の記録	(233)	88
—————:ミドリネグロフトメイガの雌を東京都で採集	(233)	111
—————:シラホシチビガに似た <i>Bucculatrix</i> 属(ホソガ上科チビガ科)の未記載種について	(234)	136
—————:センダンヒメハマキとカオジロネグロヒメハマキを東京都(本土部)で採集	(236)	59
—————:東京都奥多摩町でウスカバズジコブガを採集	(237)	94
—————:本誌229号の西海(2017)からミスジホソガに関する記述を削除	(238)	124
—————:東京都奥多摩町の蛾類	(243)	3
西海正彦:〔中島秀雄を見よ〕	(Suppl. 15)	1
—————:〔長田庸平を見よ〕	(245)	148
西尾規孝:カノコガの生活史	(227)	2
—————:トビイロトラガの生活史	(228)	27
—————:ニホンセセリモドキの交尾行動のまとめ	(232)	33
—————:クロウスタビガとウスタビガ 一幼生期と成虫生態の比較	(232)	35
—————:アオスジアオリンガの営繭場所	(233)	87
—————:ウスチャヤガの飼育	(233)	107
—————:本州産 <i>Catocala</i> の静止姿勢と後翅色の多様性	(234)	155
—————:トビイロトラガの交尾行動, 産卵行動と化性	(235)	14
—————:クロウスタビガの羽化と交尾時刻, 屋間の静止場所	(236)	29
—————:ヒメヤママユ幼生期の観察	(236)	61
—————:クロウスタビガの卵と繭の追加観察例	(236)	63

————— : <i>Catocala</i> のアブラムシ分泌物への飛来例……………	(237)	83
————— : ヒメヤママユの羽化と交尾時刻……………	(237)	90
————— : ノコギリスズメ幼虫の飼育……………	(237)	91
————— : クロウスタビガにおける蛹体長、羽化成虫の前翅長と体重および蔵卵数との関連……………	(238)	121
————— : オニベニシタバの営巣場所……………	(239)	16
————— : トリバガ科の越冬態についての観察例……………	(248)	78
————— : トイレ用猫砂に発生したコクガ……………	(248)	100
————— : シモフリスズメ前蛹を掘り出した家ネコ……………	(248)	104
————— : ウスタビガの産卵場所……………	(249)	142
————— : バイバラシロシャチホコの飼育……………	(249)	160
————— : オオバコヤガの産卵行動……………	(250)	176
————— : 長野県上田市市街地でクリオオアブラムシ分泌物に誘引された秋の蛾類……………	(250)	188
————— : ヒメアトスカシバの交尾観察……………	(251)	28
————— : フタオビキヨトウ幼生の夏季休眠と思われる事象……………	(252)	60
西澤正隆 : 長崎県未記録及び県本土未記録の蛾類 3……………	(246)	199
野村昭英・小松利民 : クロウスタビガの斑紋消失個体を採集……………	(252)	53
野中俊文 : (鈴木信也を見よ) ……………	(248)	105
————— : (鈴木信也を見よ) ……………	(252)	78
沼田和洋 : (田中淑喬を見よ) ……………	(227)	14
————— : (田中淑喬を見よ) ……………	(229)	84
————— : (田中淑喬を見よ) ……………	(239)	15
————— : (田中淑喬を見よ) ……………	(243)	41
————— : (田中淑喬を見よ) ……………	(243)	53
————— : (田中淑喬を見よ) ……………	(244)	95
————— : (田中淑喬を見よ) ……………	(245)	149
沼田康夫 : 小林さんとの海外採集の思い出……………	(251)	40
奥 尉平 : (阪上光多を見よ) ……………	(240)	32
奥 俊夫 : カドオビヒメハマキとその近似種に関する覚書 (ハマキガ科, ヒメハマキガ亜科) ……………	(232)	45
————— : (楠 祐一を見よ) ……………	(245)	115
長田庸平 : 奈良県でアメリカピンクノメイガを採集……………	(246)	182
————— : 北海道アポイ岳におけるコエヅマツアミメヒメハマキの記録……………	(248)	72
————— : 福岡県におけるモチノキヒメハマキの記録……………	(248)	104
————— : 鳥取県におけるテングイラガ属 2 種の記録……………	(248)	114
————— : オオウスオビヒメハマキの兵庫県からの記録……………	(249)	147
————— : 奈良県生駒市でベニイカリモンガを採集……………	(249)	162
————— : 石垣島におけるカビラクリイロヒロズコガの追加記録……………	(250)	196
————— : 大阪府堺市でアカサビヤガを採集……………	(253)	113
————— : 大阪府堺市でシナチクノメイガを採集……………	(254)	166
————— : 枝恵太郎 : 大阪府堺市でコガタツマキリヨトウを採集……………	(251)	19
————— : 枝恵太郎 : 大阪府堺市でミナミツマキリヨトウを採集……………	(254)	167
————— : 桂孝次郎 : 大阪府大阪市 (朝公園・いのちの森) におけるイチジョウヒメハマキの記録……………	(251)	18
————— : 桂孝次郎・吉安 裕 : 大阪府でアメリカピンクノメイガを採集……………	(245)	132
————— : 西海正彦 : 東京都板橋区で 3 月にオオミズアオ成虫を確認……………	(245)	148
————— : 清野昭夫・間野隆裕 : 三重県におけるシイタケオオヒロズコガの記録……………	(253)	130
————— : 外村俊輔・室 紀行 : 埼玉県においてシイタケの柵木から発生したシロスジカバマルハキバガ		

(チョウ目マルハキバガ科)	(252)	63
——・吉武 啓：2021年に栃木県益子町で採集された蛾類	(247)	34
——・吉武 啓・木村正明：2021年に屋我地島で採集された蛾類	(246)	213
——：〔村瀬駿弥を見よ〕	(247)	40
大島康宏：〔田部達也を見よ〕	(253)	128
大和田守・富沢 章：ヒメクロホシフタオの同定と近縁種との比較	(251)	13
斎藤秀昭：〔田中淑喬を見よ〕	(227)	14
——：〔田中淑喬を見よ〕	(239)	15
——：〔田中淑喬を見よ〕	(243)	53
——：〔田中淑喬を見よ〕	(244)	95
——：〔田中淑喬を見よ〕	(245)	149
斎藤 修：千葉県旭市でナイトウツトガを採集	(229)	66
——：千葉県のヨツボシホソバとウンナンヨツボシホソバの検討	(233)	93
——：千葉県北部で採集したヒメハマキガ亜科の3種の記録	(241)	100
——：千葉県木更津市で採集したキモントガリバヒメハマキとシロテンアカマダラヒメハマキ	(245)	130
——：移入種と考えられるキモンホソバノメイガとアメリカピンクノメイガの千葉県での記録	(247)	32
——：Xyrosaris (スガ科ホソバコスガ属) 3種の雌の識別と千葉県における記録	(250)	182
——：〔渡辺 弘を見よ〕	(238)	126
齋藤孝明：アキノヒメミノガの成虫期	(247)	22
——：アキノヒメミノガの幼虫期 (I) -新幼虫の分散について-	(249)	137
阪上洸多・宮野昭彦・後藤聖一郎・岩下幸平・クルズスキー淳子・間野隆裕・松井悠樹・Khine Mon Mon Kyaw ・那須義次・奥 尉平・富沢 章・外村俊輔・屋宜禎央：兵庫県で開催した第79回レピドプテリスト セミナー (レピゼミ) で採集された蛾	(240)	32
——：〔鈴木信也を見よ〕	(252)	78
——：〔富沢 章を見よ〕	(238)	107
阪本優介：神奈川県で記録しておきたい蛾類	(254)	137
——・神澤由己・神保宇嗣：関東におけるテングナミシヤクの記録	(241)	103
——・神澤由己・志田智義・安西 稔：神奈川県でアトジロキリガを採集	(248)	103
——・山本健二：ヒコサンコアカヨトウをアラカシで飼育	(242)	161
——：〔金子岳夫を見よ〕	(248)	66
櫻井正俊・小松利民：日本産ボクトウガとヒメボクトウの区別点と学名について	(249)	121
佐々木明夫：八重山諸島から採集された日本未記録のツトガ	(234)	129
——：秋田県の蛾類相に関する文献目録 (追加：6)	(235)	17
——：〔田中政行を見よ〕	(228)	30
佐々木公隆：〔鈴木信也を見よ〕	(248)	105
——：〔鈴木信也を見よ〕	(252)	78
佐藤宏明：〔船越進太郎を見よ〕	(231)	1
——：〔富沢 章を見よ〕	(238)	107
佐藤力夫：新潟県の蛾類に関する文献 (追加54)	(227)	15
——：新潟県の蛾類に関する文献 (追加55)	(231)	26
——：新潟県の蛾類に関する文献 (追加56)	(235)	11
——：新潟県の蛾類に関する文献 (追加57)	(239)	22
——：新潟県の蛾類に関する文献 (追加58)	(243)	48
——：新潟県の蛾類に関する文献 (追加59)	(247)	24
——：新潟県の蛾類に関する文献 (追加60)	(251)	35

————— : キバネハラナガノメイガを新潟県内で採集……………	(227)	19
————— : キトガリヒメシャクを新潟県内で採集……………	(230)	116
————— : グミにつく Macarini 族のエダシャク 3 種の幼虫……………	(235)	20
————— : トギレフユエダシャクを新潟県 (佐渡島) から初記録……………	(250)	201
————— : 蛾と蛾屋さんとともに……………	(Suppl. 13)	1
————— : 佐藤力夫論文著作目録 (1954-2020)……………	(Suppl. 13)	7
————— : 内藤恒夫 : シロモンフサヤガを新潟県内で採集……………	(229)	92
————— : 内藤恒夫 : ハマオモトヨトウが新潟市に発生……………	(243)	1
————— : 内藤恒夫 : タナカヒメシャクを新潟県で採集……………	(243)	52
————— : 内藤恒夫 : ハネナガモクメキリガを新潟県で採集……………	(246)	174
————— : [内藤恒夫を見よ]……………	(243)	47
————— : [内藤恒夫を見よ]……………	(244)	98
————— : [内藤恒夫を見よ]……………	(Suppl. 16)	1
清野昭夫 : ニセソトモンツトガを長野県で採集……………	(228)	37
————— : 新潟県でフタキモンヒメハマキを採る……………	(228)	42
————— : 新潟県産イラガ科 <i>Microleon</i> 属の再検討……………	(230)	109
————— : 新潟県からアトテンクルマコヤガを見出す……………	(231)	25
————— : 新潟県から初めて得られた小蛾類 2 種……………	(236)	31
————— : 佐藤力夫博士によって記載された分類群一覧……………	(Suppl. 13)	40
————— : [内藤恒夫を見よ]……………	(243)	47
————— : [内藤恒夫を見よ]……………	(244)	98
————— : [内藤恒夫を見よ]……………	(Suppl. 16)	1
————— : [長田庸平を見よ]……………	(253)	130
志田智義 : [阪本優介を見よ]……………	(248)	103
四方圭一郎 : 赤石山脈亜高山帯におけるヒメコウモリ (鱗翅目, コウモリガ科) の記録……………	(250)	173
清水 一 : 奈良県信貴山におけるフユシャクガの採集記録……………	(227)	18
————— : キイロミモンエダシャクを大阪府で採集……………	(230)	117
————— : クモオビナミシャクを 2 月に採集……………	(233)	82
————— : 大阪府でオオノコバヨトウを採集……………	(234)	148
————— : ミジンベニコヤガを大阪府藤井寺市で採集……………	(238)	125
————— : 近畿地方からツマオレガ亜科 4 種を記録……………	(241)	101
————— : 大阪府のマダラハマキガ亜科……………	(242)	136
————— : タケウチエダシャクを奈良県で採集……………	(245)	131
————— : ソトハガタアツバを大阪府で採集……………	(246)	218
————— : 昭和初期に河内平野 (大阪府) で採集された注目すべき蛾類……………	(247)	27
杉島一広 : [船越進太郎を見よ]……………	(231)	1
鈴木信也・宮野昭彦 : 長野県伊那市長谷黒河内 (第 50 回みくに会) で採集した蛾の記録……………	(239)	9
————— : 野中俊文・水野利彦・佐々木公隆・外村俊輔・岸田泰則 : 2021 年 7 月 16 日及び 17 日に宮崎県で 得られた蛾類……………	(248)	105
————— : 阪上洗多・枝恵太郎・松井悠樹・野中俊文・佐々木公隆・田島 尚・外村俊輔・吉田 慧・岸田泰則 : 2022 年 7 月 22~24 日に宮崎県日南市 (第 51 回みくに会) で得られた蛾類……………	(252)	78
田島 尚 : [鈴木信也を見よ]……………	(252)	78
高橋公彦 : [船越進太郎を見よ]……………	(231)	1
————— : [木村正明を見よ]……………	(242)	125
田村常雄 : [那須義次を見よ]……………	(240)	29

田部達也・中村 泰・大島康弘：シンジュキノカワガの三重県の記録	(253)	128
田中政行：ヒメナミガタアオシヤクを青森県から採集	(230)	116
———：チビウスキオオメイガの分布と生態的知見	(244)	103
———：コンオビヒゲナガを青森県で採集	(245)	156
———：モンシロモドキを秋田県で採集	(250)	188
———・佐々木明夫：ニセソトモンツトガを福島県から採集	(228)	30
田中敏博：ミツモンホソキバガを千葉県で採集	(246)	215
田中淑喬・沼田和洋・斎藤秀昭・鳥海清一：神奈川県湘南地方でハガタマエチャナミシヤクを撮影・採集	(227)	14
———・沼田和洋・斎藤秀昭・鳥海清一：シロテンアカマダラヒメハマキを神奈川県平塚市で採集	(243)	53
———・沼田和洋・鳥海清一：テングナミシヤクの神奈川県からの記録	(229)	84
———・沼田和洋・鳥海清一・斎藤秀昭：神奈川県のテングナミシヤクの追加記録	(239)	15
———・沼田和洋・鳥海清一・斎藤秀昭：南関東において稀な蛾の記録	(244)	95
———・斎藤秀昭・沼田和洋・鳥海清一：神奈川県で採集した稀な蛾について	(245)	149
———・次田 章・沼田和洋： <i>Pyrausta inornatalis</i> (Pryer) アメリカピンクノメイガの累代飼育による生態観察	(243)	41
谷田昌也：島根県で多数採集されたヒロオビトンボエダシヤクの黒化型	(235)	1
———・間野隆裕・木村正明：屋久島 11 月の蛾類	(240)	57
———・吉安 裕：ツメクサガ (ヤガ科) の生態記録	(233)	90
———：〔木村正明を見よ〕	(242)	125
富永 智：ミミモンクチバ、ゴマコウンモンクチバの沖縄島における生態記録	(227)	5
———：沖縄島、石垣島におけるオオセンダンヒメハマキを含むヒメハマキガ亜科 5 種の生態記録	(228)	33
———：ナタモンアシブトクチバを含むヤガ科 4 種の生態記録	(228)	39
———：沖縄島、石垣島、西表島におけるノメイガ亜科蛾類 8 種の生態記録	(229)	85
———：ミナミサガリバナヒメハマキは土着種で矛盾しない	(229)	90
———：鹿児島県喜界島と沖永良部島で得た蛾類	(230)	102
———：インドキシタクチバの食草についての訂正	(230)	104
———：ヒトリモドキガ科蛾類 5 種の沖縄島における寄主植物	(230)	118
———：沖縄島におけるナカジロフサヤガの寄主植物	(231)	21
———：キスジヒロードナミシヤクの幼虫	(231)	23
———：キオビセセリモドキの西表島における生態記録	(232)	50
———：沖縄島、石垣島、西表島におけるシヤクガ科蛾類 10 種の生態記録	(233)	114
———：本誌 170 号で報告したオキナワミスジノメイガ幼虫の写真の誤りと寄主及び関連文献の訂正	(234)	149
———：スキバドクガの新食草と生態の記録	(234)	151
———：石垣島でオオクサボクから得られたマイコガ科の 1 種とオバナワスズメについて	(235)	6
———：沖縄島でオオセンダンヒメハマキとアトウスバヒメハマキがレイシ以外にテリハボクにも寄生	(236)	55
———：ハイロヒトリ、スジモンヒトリ、カクモンヒトリの沖縄島における生態と食草の記録	(237)	84
———：石垣島におけるミドリオオハマキモドキの生態記録	(238)	130
———：ワタリナガが沖縄島のホソバキンゴジカで発生した記録	(239)	17
———：沖縄島におけるヤクシマカバナミシヤクとアマミアオナミシヤクの生態記録	(240)	54
———：石垣島におけるアトシロオビフタオとマルバコブガの寄主植物	(241)	104
———：ツマグロクチバ幼虫を西表島のシノキカズラから得た記録	(242)	132
———：西表島、石垣島におけるチビウスバホソシヤクの生態記録	(243)	38
———：久米島におけるウラグロシロノメイガの生態記録	(244)	62
———：オオキオビハマキモドキの食草、キオビハマキモドキとイスビワオオハマキモドキの新食草	(245)	159
———：石垣島におけるネボシツマクリヨトウの生態記録	(246)	216
———：西表島におけるシヤクガ科蛾類 3 種の生態記録と過去のフタツメオオシロヒメシヤクの食草につい		

の訂正	(247)	29
———：沖縄島、石垣島におけるヤガ科蛾類7種の生態記録	(248)	55
———：沖縄島、石垣島におけるフタクロボシハビロキバガの生態記録	(249)	126
———：前翅腎状紋が白くないヒメシロテンヤガと寄主の新知見について	(250)	178
———：クリイロアツハ蛹巢とコマチグモ巢との見分け方	(251)	20
———：沖縄島、石垣島、西表島におけるツトガ科ノメイガ亜科蛾類6種の生態記録	(252)	90
———：イカリモンノメイガの新食草	(253)	112
———：ケナシクロオビクロノメイガの石垣島からの報告	(254)	169
富沢 章：石川県産蛾類の追加記録 VIII	(230)	111
———：前翅を欠くツマキホソバを採集	(239)	8
———：石川県における <i>Omiodes</i> 属 (ツトガ科) 3種の垂直分布と発生時期	(240)	41
———：石川県産蛾類の採集記録に基づく垂直分布と化性の考察 I—シャクガ科	(246)	193
———：石川県産蛾類の採集記録に基づく垂直分布と化性の考察 II—ヤガ科	(247)	15
———：石川県産蛾類の採集記録に基づく垂直分布と化性の考察 III—カギバガ科・スズメガ科・ヒトリガ科	(248)	83
———：石川県産蛾類の採集記録に基づく垂直分布と化性の考察 IV—メイガ上科	(249)	143
———・船越進太郎・間野隆裕・宮野昭彦・阪上洸多・佐藤宏明・外村俊輔・屋宜禎央：石川県で開催した 第76回レビドプテリストセミナー (レビゼミ) で採集された蛾	(238)	107
———・小又節子：富山県と石川県におけるハマオモトヨトウの記録	(234)	133
———：〔阪上洸多を見よ〕	(240)	32
———：〔大和田守を見よ〕	(251)	13
外村俊輔：〔長田庸平を見よ〕	(252)	63
———：〔阪上洸多を見よ〕	(240)	32
———：〔鈴木信也を見よ〕	(248)	105
———：〔鈴木信也を見よ〕	(252)	78
———：〔富沢 章を見よ〕	(238)	107
鳥海清一：〔田中淑喬を見よ〕	(227)	14
———：〔田中淑喬を見よ〕	(229)	84
———：〔田中淑喬を見よ〕	(239)	15
———：〔田中淑喬を見よ〕	(243)	53
———：〔田中淑喬を見よ〕	(244)	95
———：〔田中淑喬を見よ〕	(245)	149
坪田 瑛：ヤクシマヒメキシタバを兵庫県市川町で採集	(234)	147
———：マダラウスズミケンモンを兵庫県市川町で採集	(235)	22
———：ヨスジコヤガを兵庫県市川町で確認	(241)	107
次田 章：〔田中淑喬を見よ〕	(243)	41
釣巻岳人：埼玉県和名倉山のイラガ科	(242)	149
———：埼玉県和名倉山のドクガ科	(244)	91
———：埼玉県和名倉山のヒゲナガガ科	(248)	101
梅津一史：コンオビヒゲナガを秋田県で採集	(227)	1
———：クロフカバシャクを秋田県で採集	(230)	101
———：秋田県内で採集したニセマイコガ科	(232)	53
———：秋田県内で採集したホソハマキモドキガ科	(236)	43
———：山形県未記録のハマヤガを採集	(243)	2
———：秋田県初記録のニセマイコガ科2種の記録	(244)	72
———：秋田県のホソハマキモドキガ科についての知見の追加	(247)	1

—————：秋田県内で採集したマルハキバガ科……………	(249)	129
—————：アメリカピンクノメイガを秋田県で採集……………	(250)	193
—————：ヒメヨツモンヒナタメイガを秋田県で採集……………	(250)	199
綿引大祐：オオノコバヨトウの新潟県（佐渡島）からの初記録および幼虫の生態・形態に関する考察……………	(249)	152
—————：佐渡島からのフユシヤク類の記録……………	(249)	159
—————・吉松慎一・中谷至伸：ツマジロクサヨトウの佐渡島からの初記録……………	(248)	81
渡辺 弘・斉藤 修：ビヤクシンハモグリガを千葉県で採集……………	(238)	126
屋宜禎央：〔船越進太郎を見よ〕……………	(231)	1
—————：〔阪上光多を見よ〕……………	(240)	32
—————：〔富沢 章を見よ〕……………	(238)	107
山田悠斗：エゾクシヒゲシヤチホコを京都で採集……………	(252)	89
山本健二：〔阪本優介を見よ〕……………	(242)	161
山本光人：アオキ（ミズキ科）を食した2種の幼虫について……………	(239)	20
—————：沖縄県ベルビーチゴルフクラブ内の蛾の記録……………	(240)	69
柳谷卓彦：〔村松詮士を見よ〕……………	(Suppl. 14)	1
保田信紀：〔楠 祐一を見よ〕……………	(237)	75
吉田 慧：〔鈴木信也を見よ〕……………	(252)	78
吉松慎一：〔綿引大祐を見よ〕……………	(248)	81
吉武 啓：〔長田庸平を見よ〕……………	(246)	213
—————：〔長田庸平を見よ〕……………	(247)	34
吉安 裕：ガマヨトウ（ヤガ科，キリガ亜科）のマコモからの羽化行動……………	(242)	119
—————・南 尊演：近畿地区から初めて記録されたフトシロスジツトガ（ツトガ科）……………	(241)	79
—————：〔船越進太郎を見よ〕……………	(231)	1
—————：〔前田憲吾を見よ〕……………	(240)	43
—————：〔西田信夫を見よ〕……………	(232)	60
—————：〔長田庸平を見よ〕……………	(245)	132
—————：〔谷田昌也を見よ〕……………	(233)	90

紹 介

虫塚紀行（柏田雄三）……………	(228)	38
機械昆蟲制作のすべて（宇田川誉仁著・角丸つぶら編）……………	(228)	50
東京大学千葉演習林（千葉県南部青澄山系）の昆虫相（斉藤明子ほか）……………	(229)	80
昭和村の昆虫（福島昆虫ファウナ調査グループ編集）……………	(229)	84
ヤママユガ紡ぐ緑の宝物 里山のヤママユ（新開 孝）……………	(229)	94
日本の冬尺蛾（中島秀雄・小林秀紀）……………	(230)	22
千葉県立房総のむら昆虫相調査報告書（千葉県昆虫談話会）……………	(232)	73
岐阜県新穂高温泉上流部の蛾類の記録（遠藤弘志・笠井初志・宮崎弘規・大和田守・説田健一）……………	(232)	73
東京都蛾類目録（西海正彦）……………	(237)	70
和琴半島の昆虫 道東の昆虫と自然 別冊（道東昆虫研究所）……………	(238)	128
岐阜県蛾類採集記録II（2019年編纂）（岐阜県の蛾を調べる会）……………	(238)	135
琉球列島採集観察地ガイド（木村正明・青木一幸編著）……………	(240)	68
日本の蛾（岸田泰則）……………	(241)	99
稲庭岳周辺地域の動植物（二戸市総合政策部公民連携推進課）……………	(241)	102
石川県の蛾類（富沢 章）……………	(243)	55
日本のヤママユガ（岸田泰則・矢野高広・三田村敏正・五島正幸・中島秀雄）……………	(243)	55

明治神宮の蛾類 (2) (枝恵太郎・岸田泰則・新里達也)	(245) 163
日本のハマキガ 1 (那須義次)	(246) 181
土浦市宍塚地区の里山におけるガ類の記録 (佐藤和明・釣巻岳人)	(247) 42
白神山地の蛾 250 (2) (中村剛之・平手季一・富永豪太・江口一馬)	(247) 44
南伊勢町押浜蛾類調査報告書 (伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会)	(249) 141
岐阜県大野郡白川村白山山麓の蛾類 (遠藤弘志・笠井初志・宮崎弘規・大和田守・説田健一)	(249) 161
ながら川ふれあいの森の昆虫類 (II) ～百々ヶ洞のチョウ目昆虫類～ (田中正弘)	(249) 163
蛾類の生態 (西尾規孝)	(250) 190
白神山地の蛾 250 (3) (中村剛之・富永豪太・江口一馬・横山裕正)	(253) 131
白神山地の蛾 250 (4) (中村剛之・富永豪太・江口一馬・横山裕正・工藤 忠)	(253) 131
2021 年・2022 年に戸田市道満地区で確認された蛾類 (山本理香)	(253) 131

雑

訂正 北海道南部で記録された蛾類 II (水谷 穰)	(234) 154
訂正 クワトゲエダシヤクとキイロトゲエダシヤクを愛知県西尾市で採集 (間野隆裕)	(235) 19
訂正 富山県と石川県におけるハマオモトヨトウの記録 (富沢 章)	(235) 23
訂正 北海道南部で記録された蛾類 II (水谷 穰)	(236) 58
訂正 センダンヒメハマキとカオジロネグロヒメハマキを東京都 (本土部) で採集 (西海正彦)	(237) 89
訂正 キバガ科の幼虫とその食草 (11) (小木広行)	(237) 93
訂正 ホソハマキモドキガ科の日本からの 1 未記録種 (小木広行)	(238) 131
訂正 アヤシラフクチバの生活史 (西尾規孝)	(238) 138
訂正 新潟県での小蛾類の採集記録 I (平野長男)	(241) 84
訂正 ミヤマクロオビナミシヤクの岩手県からの記録 (三井秀男)	(242) 118
訂正 ガマヨトウ (ヤガ科, キリカ亜科) のマコモからの羽化行動 (吉安 裕)	(243) 25
訂正 沖縄島初記録と思われる小蛾類 3 科 4 種の報告 (富永 智)	(244) 64
訂正 埼玉県和名倉山のイラガ科 (釣巻岳人)	(244) 94
訂正 <i>Pyrausta inornatalis</i> (Pryer) アメリカピンクノメイガの累代飼育による生態観察 (田中淑喬)	(244) 97
訂正 沖縄県ペルビーチゴルフクラブ内の蛾の記録 (山本光人)	(244) 97
訂正 木曾山脈将基頭山付近に生息する蛾類の生態 (西尾規孝)	(248) 67
訂正 沖縄本島におけるツトガ科とメイガ科数種の食草 (富永 智)	(249) 128
訂正 沖縄本島と石垣島におけるハマキガ科数種の生態記録 (富永 智)	(249) 136
訂正 日本産ボクトウガとヒメボクトウの区別点と学名について (小松利民)	(250) 179
訂正 トリバガ科の越冬態についての観察例 (西尾規孝)	(251) 26
訂正 紫外線 LED トラップによる新潟県弥彦山系の 2020, 2021 年の蛾類 (内藤恒夫ほか)	(251) 36
訂正 岐阜県の蛾類相 I (宮野昭彦)	(251) 38
訂正 2021 年 7 月 16 日及び 17 日に宮崎県で得られた蛾類 (鈴木信也)	(252) 62
訂正 マエグロシラオピアカガネヨトウ幼虫をフタリシズカ (センリョウ科) より採集 (金子岳夫)	(252) 65
おしらせ 「誘蛾燈」バックナンバーの入手方法.....(227) 13, (232) 73, (235) 15, (240) 69, (252) 93	
おしらせ カラー代金著者負担と別刷代金の変更について.....(229) 100	
おしらせ カラー代金著者負担について.....(232) 80	
おしらせ 会費納入のお願い.....(230) 128, (234) 168, (238) 135, (242) 161, (246) 219	
おしらせ 会費納入のお願い (会費未納の会員へ)	(252) 99
おしらせ 会費納入状況の案内と領収書について.....(227) 20	
おしらせ 会費納入状況の案内と会計年度について.....(231) 14	
おしらせ 会費納入状況の案内について.....(235) 24	

- おしらせ 投稿にあたってのお願い……………(230) 123, (234) 154, (239) 12, (243) 56, (246) 219, (249) 163
 おしらせ 誘蛾会ノベルティの販売について……………(249) 161, (252) 99
 おしらせ 誘蛾会ノベルティグッズの販売について……………(254) 163
 おしらせ 「誘蛾燈」No. 60 (1975年発行) 以前の古いバックナンバーについて……………(228) 56

昆虫誌から

(227) 21, (228) 50, (229) 95, (230)123, (231) 29, (232) 74, (233)123, (234)164, (235) 25, (236) 64, (237) 95, (238)139,
 (239) 25, (240) 70, (241)108, (242)162, (243) 56, (244)107, (245)163, (246)220, (247) 45, (248)116, (249)164, (250)202,
 (251) 48, (252) 94, (253)131, (254)173

発行年月日一覧

発行年	号 数 (ページ) ・発行月日			
2017	No. 227 (1-24) 1月31日	No. 228 (25-56) 5月1日	No. 229 (57-100) 8月31日	No. 230 (101-128) 11月1日
2018	No. 231 (1-32) 3月1日	No. 232 (33-80) 5月31日	No. 233 (81-128) 9月30日	No. 234 (129-168) 12月1日
2019	No. 235 (1-28) 3月1日	No. 236 (29-68) 5月31日	No. 237 (69-100) 7月31日	No. 238 (101-144) 11月30日
2020	No. 239 (1-28) 2月1日	No. 240 (29-76) 6月1日	No. 241 (77-116) 8月31日	No. 242 (117-164) 11月1日
2021	No. 243 (1-60) 1月1日	No. 244 (61-112) 5月1日	No. 245 (113-172) 8月1日	No. 246 (173-224) 12月1日
2022	No. 247 (1-52) 3月31日	No. 248 (53-120) 5月31日	No. 249 (121-172) 8月31日	No. 250 (173-204) 12月1日
2023	No. 251 (1-52) 2月1日	No. 252 (53-100) 5月1日	No. 253 (101-136) 7月31日	No. 254(137-176) 11月1日

2018年 3月1日 Supplement 11 (pp. 1-156) 発行 2020年 6月1日 Supplement 12 (pp. 1-228) 発行
 2020年 11月1日 Supplement 13 (pp. 1-60) 発行 2021年 1月1日 Supplement 14 (pp. 1-60) 発行
 2021年 5月1日 Supplement 15 (pp. 1-56) 発行 2022年 8月31日 Supplement 16 (pp. 1-80) 発行
 2022年 12月1日 Supplement 17 (pp. 1-80) 発行

凡 例

- この総目次は「誘蛾燈」No. 227～No. 254 と Supplement 11～17 に掲載されている事項を「報文」、「紹介」、「雑」、「昆虫誌から」の4項に分けて製作した。
- 報文の配列は著者名のABCの順とし、同一著者のものは発表順としたが、同一表題の報文が何回かに分けて掲載された場合は、最初に発表されたものに続けて載せた。共著の場合は、最初の著者の項に載せ、2人目以後の著者の項は、〔 〕内にその旨を示した。
- () 内に号数を示し、次にページ数を記した。

誘 蛾 燈 総目次

誘蛾会:440-0042 愛知県豊橋市栄町 144-3
 発行人:金子岳夫 (abies@basil.ocn.ne.jp)
 (振替) 00890-6-183472 (年会費 6,000円)
 2024年1月10日発行

GENERAL INDEX TO YUGATO

A Journal of Research on Moths
 Published by the Yugato Society
 144-3 Sakaemachi, Toyohashi, Aichi, 440-0042 JAPAN
 Issued January 10, 2024